



工藤ゆみの 認知症ケアの視点

天晴れ介護サービス総合教育研究所 外部講師 メンタルサポーター工藤ゆみ

自己紹介 工藤 ゆみ



★メンタルサポーター

★明るく楽しい介護現場づくり請負人

コミュニケーショントレーナー

介護福祉士・公認心理師・介護支援専門員・認知症ケア専門士

お年寄りの知恵や経験、人間性に強く惹かれ介護の道へ。

介護主任、管理者も経験し、チームで楽しく仕事をしたいと奮闘する。チームでアイデアを出しながらより良い介護を目指していくには思いだけでは難しく、子育ての忙しさと重なり、心身ともに限界になり退職。

その後、子育て中心にシフトし、パート介護職をしながら、自分みたいな人がでないようにケアする人を支えていきたい思いからカウセリング学ぶ。

カウセリングを学び、自分はコミュニケーションの基礎を知らなかったこと、知らないことでうまくいかなかったことに気付く。そこで学んだ知識と自分の長年の介護経験から介護職のコミュニケーションスキルを磨く。

今後も、自分のようにコミュニケーションやストレスで困っている介護職、リーダー、管理職に向けて「コミュニケーションとストレスケア」の大切さと必要性を広め、ケアする人が生き生きとする介護現場を作るサポートをしていきたいと考えている。

天晴れ介護サービス総合教育研究所でコミュニケーションとメンタルケアのオンラインセミナー外部講師
援助職向けのカウセリング（介護事業所・個人）
グループホームパート介護職員。

はじめに

- ◆ 安心・安全の場にしたいので、批判、否定（自分のことも）をしないようにお願いします
- ◆ ここでの参加者の発言、利用者さんの情報を他言しないようお願いいたします。
- ◆ どんな意見・チャレンジも大丈夫！お互いの発言を尊重し合う環境にしましょう。
- ◆ やってみたいことは、明日から実践して、体感して、反応を分析して、次回に活かしてください。また、ほかの人の視点も聞いて自分の視点との違い（間違いではない）を感じてみましょう。

本日の流れ

1. 介護、認知症ケアに興味をもったきっかけ
2. 私の心に残る利用者さんとのエピソード
3. 私が大切にしているケアの視点と工夫
4. これから先、挑戦してみたいこと
5. Q&A、まとめ
6. あなたの心に残るエピソード、
仕事上での工夫や知恵のシェア

1. 介護、認知症ケアに興味をもったきっかけ

◆高校のボランティア 一人暮らしお年寄りの自宅に訪問



1. 介護、認知症ケアに興味をもったきっかけ

◆高校の時の国語の先生①（退職後に講師として勤務？）

邂逅

【読み方】
かいこう

【意味】
偶然であうこと

【類語】
久しぶりに会う、たまたま会う、巡り合う

TRANS.Biz



1. 介護、認知症ケアに興味をもったきっかけ

◆なぜか涙がでる



☆ お年寄りの知恵や経験を知りたい、感じたい

1. 介護、認知症ケアに興味をもったきっかけ

◆高校の時の国語の先生②（専門学校受験のための勉強）

スピードスケートの小平奈緒がレースを終え、リンクをゆっくりと回る。客席から大きな歓声があがる。小平は指を立てて口にあてた。「静かに。次のレースがあるから」と言うかのようだ。その瞬間の写真が韓国の新聞「朝鮮日報」の記事に添えられていた▼次に控えていた韓国の李相花は、五輪での3連覇が期待されていた。小平のしぐさや李への気配りのように見えた、と記事にある。結果は小平が李にまさった。泣き崩れそうになった李を小平が抱擁したことも韓国メディアは手厚く伝えた▼国際大会で何度も戦うライバルは、やがて友人になった。李は語っている。「彼女は韓国の家遊びにきたことがあった。私が日本へ行けば、いつも面倒を見てくれる。特別な友達だ」。2人で一緒に走ってきた、とも▼ライバルの語源はラテン語の「川」にあり「対岸に住む同じ川を利用する2人」を指した。水をめぐる争いがあるためという。しかし2人の選手を見てみると、同じ川の流れのなかで生きる人、と読み替えたくなる▼頂点での勝負について回るのが、美しい気持ちばかりとは思えない。敵愾心も嫉妬心もある。国際大会となれば、国対国の色も帯びる。だからこそ選手と選手のつながりに心が動く。先日は羽生結弦がスペインのライバルと抱き合う場面もあった。同じコーチのもとで練習した仲だという▼競い合い、励まし合い、尊敬し合える友達がいる。そうありたいと願うのは、もちろん競技の世界に限らない。

天声人語



1. 介護、認知症ケアに興味をもったきっかけ

- ◆ 専門学校での実習（特養、障がい者施設、訪問入浴）

1. 介護、認知症ケアに興味をもったきっかけ

- ◆ 就職氷河期
- ◆ 初めての就職、介護現場の現状（特養①）



☆ 想いと現状が違う、求められていることができない

1. 介護、認知症ケアに興味をもったきっかけ

- ◆正職員で特養②就職（結婚、妊娠、出産、退職 5年）
→仕事に行くまでは、苦痛。
- ◆念願のグループホームで就職（長男1歳、夜勤あり）
→地域密着型サービス以前のGH、仕事に行くのが楽しい。
- ¹◆役職についてからの苦悩（長男6歳、二男2歳、夜勤あり）
（主任、管理者）
→楽しいけど、周りのスタッフの不満が集まる。

☆ 役割がわかっていなく、コミュニケーションが下手

2. 私の心に残る利用者さんとのエピソード

- ◆キッチンに男性を立たせてはいけない（Aさん）
- ◆あの人ダメだ！あんたがしっかりしないと！（Aさん）
- ◆ホームのアイドル（Aさん）

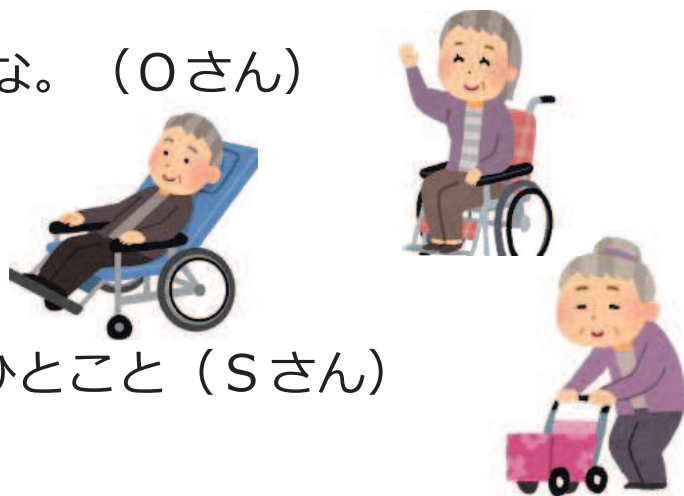


2. 私の心に残る利用者さんとのエピソード

◆ あんだがた、忙しいもんな。(Oさん)

◆ どっちもどっち(Kさん)

※ おまけ ドライブ帰りのひとこと(Sさん)



☆ 人として尊敬、思いやる気持ちはずっとある

3. 私が大切にしているケアの視点と工夫(利用者)

☆ 快適な生活(居心地の良い雰囲気、環境、自由)

☆ 身体拘束はしない!(今は当たり前だけど)

☆ 利用者さん、ほかのスタッフから学ぶ
(尊敬の念を伝える、リスペクトし合う関係)

☆ 個別ケア(その都度、適切な対応をする)

3. 私が大切にしているケアの視点と工夫（利用者）

☆ 朝の挨拶は、利用者さんと視線を合わせる

☆ ケアする前は、必ず声掛けと説明をする

☆ 本当は、なにが心配なのか、不安なのか、手伝ってほしいのか、言葉にしない思いを推測する

☆ お礼を必ずいう。リスペクトしていることを伝える

3. 私が大切にしているケアの視点と工夫（利用者）

☆ 行動はゆっくり見えて、手元は早い（理想）

☆ その人のできることを奪わない。

☆ その人の想いを引き出す、話しやかかわり方をする

☆ 知らないこと、できないことを助けていただく

3. 私が大切にしているケアの視点と工夫 (スタッフ)

- ☆ できないこと、苦手なことは助けてもらう
- ☆ 自分のできることは、積極的に多めに仕事する
- ☆ スタッフが働きやすい仕組みを考える
- ☆ 自分のことや家族を大切にす。自己投資する。

3. 私が大切にしているケアの視点と工夫 (スタッフ)

- ☆ 継続して実行することができるかどうか考える
- ☆ みんなができるやり方かどうか考え、工夫する
- ☆ 相手を責めるのではなく、一緒に改善してく
- ☆ 自分のことや家族を大切にす。自己投資する。

4. これから先、挑戦してみたいこと

- ◆ 介護スタッフの連続休日取得
- ◆ 介護スタッフの福利厚生、メンタルと身体と生活のサポート
- ◆ 専門性に応じた給与（給与UPできる経営）
- ◆ 介護の地位向上、給与UP（時給1200円以上）



4. これから先、挑戦してみたいこと

- ◆ 認知症予防と在宅での暮らしのサポート
- ◆ 働く、稼ぐ楽しさを継続（高齢者でも働ける場の提供）
- ◆ 自治体ごとにケアスタッフ、ケアサポーターがいる
- ◆ 認知症の心理・行動症状が深い方をチームでケアしていく
- ◆ 在宅介護者の生活のサポート
（個別訪問デイ、逆ショートステイなど）
- ◆ 認知症ケアの研究（具体的な支援方法の確立）



5. Q&A

質問、疑問、感想、深堀りしたい部分などありましたら、チャットに投稿お願いします。



6. あなたの心に残るエピソード、 仕事上での工夫や知恵のシェア

Episode

創意工夫

次回予告 10:00～12:00(内容変更の可能性あり)

進 絵美さん 面談スキル		工藤 ゆみの コミュニケーション、メンタルケア	
5/15	客観視するスキル	6/19	ネガティブな感情に 振り回されない思考法
7/17	正しく聴くスキル	8/21	人の心が読めるようになる 「聞き方」の鍛え方
9/18	本質を問うスキル	10/16	工藤ゆみの 認知症ケアの視点
11/15	現実を見せるスキル	1/22	管理職を選ぶ視点、 育てる視点(仮)
12/18	行動を変えるスキル	2/19	スタッフの成長を促す 質問力(仮)